

外国人が安心して医療を受けられるための環境整備

共催：一般財団法人自治体国際化協会 (CLAIR)

コロナ禍を経て、日本国内で生活する外国人だけでなく、日本を訪れる外国人観光客も再び増加しています。医療現場においては、医療従事者と異なる言語や文化をもつ外国人の間での意思疎通など、適正な医療を提供するための環境整備が求められています。この研修では、外国人が安心して医療を受けられるための環境整備について、国の動向や地域での取組、病院での対応等を学び、地域の実情に応じた環境整備を推進することができる人材の育成を図ります。

研修のポイント

- 外国人医療を取り巻く諸課題について理解を深める
- 外国人医療の環境整備の必要性と今後の対応について学ぶ
- 外国人が医療を受けるための環境整備の先進事例と地域ごとの多職種連携について学ぶ
- 地域の実情に応じた施策立案・事業展開ができる能力を演習で身につける

開催要領

日 程

令和6年2月26日(月)～2月27日(火) (2日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

○外国人住民・訪日外国人の対応に関わる市区町村及び都道府県の職員(企画・観光・国際・多文化共生・保健・医療・福祉・自治体病院・保健所・保健センター等のご担当の方、医師・看護師・保健師・医療ソーシャルワーカー等の専門職の方も受講できます。)

○地域国際化協会、市区町村国際交流協会の職員

○地方公共団体や地域国際化協会から受講推薦を受けたNPOまたはNGOの職員の方

2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰席はできませんのでご注意ください。

※議員の方も参加可能ですが、市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります。)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、お申込みは必ず議会事務局を通じてお願いします。

募集人数

30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

4,950円 ((一財)自治体国際化協会からの助成対象外の方は7,550円)

上記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食2回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。

なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和6年1月15日(月)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。

議員の方は、議会事務局を通じてお申込みください。

「Web申込み」が不可能な場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。

経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所 (JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和6年

2月
26日(月)

- 11:00~ **入寮受付・昼食**
- 12:30~ **開講・オリエンテーション**
- 13:00~14:30 **講義 外国人が安心して医療を受けられるための環境整備**
 公益社団法人日本WHO協会 理事長・医療通訳士協議会 会長 中村 安秀 氏
 外国人住民や訪日外国人の医療を取り巻く現状について、文化の違いによる注意点等も踏まえながら、現場の具体的なニーズや課題についてお話しいただきます。
- 14:45~15:35 **講義 外国人医療をめぐる国の施策の動向と今後の展望**
 厚生労働省医政局総務課医療国際展開推進室 室長補佐 高原 裕弥 氏
 外国人医療の環境整備についての国の動向や最新状況をもとに、自治体における環境整備に必要な備えについてご講義いただきます。
- 15:50~17:00 **講義 地域で考える外国人医療**
 地方独立行政法人りんくう総合医療センター国際診療科 部長 南谷 かおり 氏
 外国人の医療アクセスを保证する地域医療の構築や地域で求められる環境整備のポイントなど、医療現場からの視点でお話しいただきます。
- 17:30~ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和6年

2月
27日(火)

- 9:00~10:30 **事例紹介① 情報・検査・相談・診療の間の途切れない多言語支援体制**
 特定非営利活動法人CHARM 事務局長 青木 理恵子 氏
- 事例紹介② 外国人への医療支援～母子保健サービスを中心に～**
 公益財団法人金沢国際交流財団 事務局長 広瀬 奈々 氏
- 事例紹介③ 医療通訳士の視点から考える環境整備**
 三重大学医学部附属病院医療支援課 医療福祉係総合サポートセンター ワキモト 隆子 氏
 外国人が安心して医療を受けるための環境整備への取組について、それぞれのお立場でお話しいただきます。
- 10:45~12:00 **パネルディスカッション 多職種連携の体制づくりについて**
 コーディネーター：公益社団法人日本WHO協会 理事長・医療通訳士協議会 会長 中村 安秀 氏
 特定非営利活動法人CHARM 事務局長 青木 理恵子 氏
 公益財団法人金沢国際交流財団 事務局長 広瀬 奈々 氏
 三重大学医学部附属病院医療支援課 医療福祉係総合サポートセンター ワキモト 隆子 氏
 事例紹介の内容をふりかえりながら、地域における多職種連携や外国人のための医療環境の整備について理解を深めます。
- 13:00~15:00 **演習 外国人を主役にした外国人医療のあり方**
 公益社団法人日本WHO協会 理事長・医療通訳士協議会 会長 中村 安秀 氏
 大阪大学大学院医学系研究科 特任講師・医療通訳士協議会 事務局長 小笠原 理恵 氏
 外国人を主役にした外国人医療の環境整備をめざすために、どのような取組や連携が必要なのか考え、各地域の実情に応じた施策立案に繋がります。
- 15:00~15:30 **ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**

◎本研修は、全日程を公益社団法人日本WHO協会 理事長・医療通訳士協議会 会長 中村 安秀 氏にご指導いただきます。

(一財)自治体国際化協会が下記のとおり助成します。

①地方公共団体に属する職員

▷研修費(2,600円)を助成

※地方公共団体に属する職員については、研修費のみの助成となっておりますので、ご注意ください。

②地域国際化協会、市区町村の国際交流協会に属する職員

地方公共団体や地域国際化協会と協働して多文化共生等の事業展開に取り組むNPOまたはNGOで、地方公共団体または地域国際化協会から推薦を受けた団体に属する職員

▷研修費(2,600円)及び往復交通費の全額を基準とした額を助成

※研修費はCLAIRからJIAMに対象者分を一括で支払うことで助成するため、受講者による手続きは不要です。

※詳しくは(一財)自治体国際化協会(CLAIR)多文化共生部多文化共生課までお問い合わせください。

TEL: 03-5213-1725 FAX: 03-5213-1742

ホームページ: <https://www.clair.or.jp/j/multiculture/jiam/index.html> E-mail: tabunka@clair.or.jp

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。